

ひだかしんきん 地区内経済概況



当金庫は2021年4月、創立100周年を迎えます

***** 目 次 *****

業種別総括 令和 2年6月

概 況		1
漁業・水産加工業		2
農業・軽種馬生産業		3
建設業		3
木材・製材業		4
卸・小売業・観光		4
倒産・雇用状況		5
そ の 他		5
地区別・業種別概況		6～8
指 標		9～10
ト ピ ッ ク		11
インフォメーション		12

概 況

令和2年6月

〔漁 業〕

- 6月の総水揚げは、漁獲量は3,632tで前年を1,390t上回り、漁獲金額は6億400万円で前年を1億1,800万円下回った。漁獲量では、定置網・底曳網漁が大幅に増加したほか、ツブ、ホッキ漁が増加、他は減少した。漁獲金額では、ツブ、ホッキ漁が増加し、他は減少した。その他が大幅に増加しているが、三石・浦河地区で、イワシ、サバが大漁となり、漁獲量を押し上げた。

〔農業・軽種馬生産業〕

- J Aにいかっふのブランド「にいかっふピーマン」が、地域団体商標として特許庁に登録された。
- 道営ホッカイドウ競馬の馬券発売総額が9日のレースで過去最速ペースで100億円を突破した。

〔建 設〕

- 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)の月中発注額は10億8,900万円で、前年を6億2,200万円上回った。
- 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は33億1,500万円で前年を5億1,100万円下回った。
- 6月の建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は、10件で、前年を9件下回った。

〔小売業・飲食業〕

- 日高管内5町の今年4、5月分のふるさと納税の寄付額が、前年同期比で2倍以上増加している。新型コロナウイルス感染拡大で外出を控えた寄付者が「お取り寄せ」感覚で申し込んだのが一因とみられ、新冠町は最大の10.1倍となった。寄付額が増加した5町は新冠のほか、様似(同6.6倍)、新ひだか(同2.9倍)、えりも(同2.4倍)、平取(同2.1倍)。寄付額は、えりもの約4,800万円が最も多く、最も少ないのは新ひだかの約830万円。新冠は、昨年6月から返礼品で提供する道産の味付け豚肉などが好評。ポータルサイトの契約数を倍の4カ所とし、件数は同8倍の720件だった。様似は、「煮たこ」が人気。新鮮なミズダコをゆで上げたもので、4、5月で436件の申し込みがあった。

〔観光・その他〕

- 日高振興局のまとめによると、2019年度の日高管内観光客の入込客数は、管内7町合計は前年度比5.4%増の179万3,500人(前年度170万1,200人)で、日高、新冠両町を除く5町で増加し、最近5年間で最高の入込数。新型コロナウイルスの影響で今年3月の観光客数は大きく減少したが、年度を通してサクラ開花期の5月連休は天候に恵まれたほか、前年の胆振東部地震からの回復で道内、道外客ともほぼ同じ割合で増加した。

〔雇 用〕

- 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を下回った。

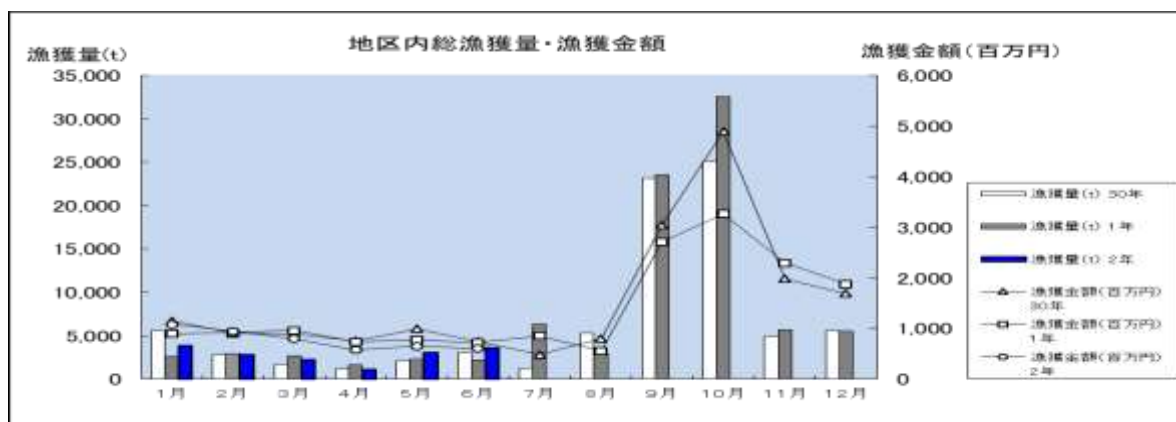
〔総 括〕

- 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証金額)は、前年を5億1,100万円下回り、町発注工事は前年を6億2,200万円上回った。漁業は、漁獲量は前年を上回り、漁獲金額は前年を下回った。日高管内7町では春から秋にかけて予定していた主要イベントのすべてが中止になった。道内各地からの観光客が訪れるイベントも多く、合計すると30万人近い集客の消滅は経済的な打撃も大きい。軽種馬産業では、7月に「セレクトセール」が開催されることから、期待を寄せている。漁業も需要の低迷や魚価が下落するなど、漁獲制限をとるなどしている。中小事業者の経営への影響は深刻化している。飲食業では、緊急事態宣言解除後、来店客は徐々に戻りつつあるも、先が見えない状況が続いており、地域経済はこの先の不安感が続いている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 タコ、カレイ、ウニ漁等。〔沖合い漁業〕 底曳き網、定置網、ツブ漁等。

総漁獲量 3,632^ト・金額 6億400万円(前年同月比1,390^ト増・1億1,800万円減)



底曳き網漁……………	179 t	・ 5 百万円	(前年同月比)	113 t 増	・ 1 百万円増)
カレイ漁……………	153 t	・ 22 百万円	(前年同月比)	104 t 減	・ 8 百万円減)
タコ漁……………	173 t	・ 79 百万円	(前年同月比)	4 t 減	・ 11 百万円減)
ツブ漁……………	258 t	・ 82 百万円	(前年同月比)	47 t 増	・ 13 百万円増)
ウニ漁……………	15 t	・ 14 百万円	(前年同月比)	26 t 減	・ 42 百万円減)
ホッキ漁……………	25 t	・ 6 百万円	(前年同月比)	19 t 増	・ 5 百万円増)
サケマス流し網漁…	20 t	・ 18 百万円	(前年同月比)	7 t 減	・ 増減なし)
定置網漁……………	1,890 t	・ 100 百万円	(前年同期比)	1,016 t 増	・ 24 百万円減)
タラ・スケソウ漁…	10 t	・ 2 百万円	(前年同月比)	20 t 減	・ 増減なし)
ナマコ漁……………	18 t	・ 64 百万円	(前年同月比)	増減なし	・ 39 百万円減)
昆 布……………	75 t	・ 126 百万円	(前年同月比)	35 t 減	・ 29 百万円減)
その他……………	816 t	・ 86 百万円	(前年同月比)	391 t 増	・ 16 百万円増)

- ・ 6月の総水揚げ。漁獲量は前年を1,390^ト上回り、漁獲金額は1億1,800万円下回った。漁獲量では、定置網・底曳網漁が大幅に増加したほか、ツブ漁、ホッキ漁も増加、他は減少した。漁獲金額では、ツブ漁、ホッキ漁、底曳網漁が増加し、他は減少した。その他が大幅に増加しているが、三石・浦河地区でイワシ・サバが大漁となり、漁獲量を押し上げた。
- ・ 農林水産省北海道農政事務所がまとめた2019年の日高管内の漁業生産量は前年比9.8%減の4万7,600^ト(同4,800^ト減)で、サケ漁の不漁が大きく影響した。道内全体(海面88万2,300^ト)に占める管内生産量は約5%。日高の主要魚種で減少量が大きいのはサケ・マス類で、前年比39.2%減の4,800^ト(前年7,900^ト)。サンマが同54.8%減の1,400^ト(同3,100^ト)。サメ類同53.3%減の700^ト(同1,500^ト)。マダラ同23.5%減の1,300^ト(同1,700^ト)。イカ同50%減の300^ト(同600^ト)など。また、コンブは前年比1.6%減の12,500^ト(同12,700^ト)、スケトウダラ同3.6%減の13,500^ト(同14,000^ト)とやや減少。タコは前年と同じ2,200^ト。ほか、ブリが前年比9.1%増の1,200^ト(同1,100^ト)、カレイ類同40.9%増の3,100^ト(同2,200^ト)、貝類(主にツブ)が同9.5%増の2,300^ト(同2,100^ト)となっている。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・ ホッカイドウ競馬で6月4日、第11レース「北海道スプリントカップ(統一GⅢ)」の馬券発売額が5億4,096万4,400円となり、1競走の過去最高額を更新した。2018年開催のブリーダーズゴールドカップの4億8,223万7,500円が過去最高で、約5,800万円上回った。
- ・ ホッカイドウ競馬は、新型コロナウイルスの影響で2月27日から休止していた全道16カ所の場外発売所(Aiba)の勝馬投票券の場外発売・払い戻しを17日から再開した。勝馬投票の発売は当面の間、ホッカイドウ競馬のみ。門別競馬場は引き続き無観客開催で実施している。
- ・ ホッカイドウ競馬の馬券投票発売額は、4月15日の開幕から6月25日(第6回3日目)まで25日間の合計売上は136億7,335万3,380円で、計画比138.41%。新型コロナウイルスの影響で、インターネットの馬券販売が例年を大きく上回っている。

〔農 業〕

- ・ 浦河、様似両町特産の夏イチゴ「すずあかね」の選果作業が本格的に始まった。浦河町のひだか東農協共同選果場には23日、収穫したすずあかねが続々と搬入された。同農協によると、現時点で新型コロナウイルスの影響は特にないといい「テイクアウトの効果なのか、思ったよりもイチゴの需要は落ちていない」という。主にケーキ用として関東方面などに出荷される。今年の両町の生産農家は昨年より5戸増えて過去最多の47戸。販売額を過去最高だった前年度を6%上回る4億9,256万円、出荷量は10%増の237トンを見込んでいる。
- ・ 地域団体商標として特許庁に登録され、全道一の生産量を誇る新冠町の特産ピーマン「にいかっふピーマン」の出荷作業が1日始まった。選別機でサイズ別に6種類に仕分けし、関東や関西、札幌など道内外の市場に出荷する。「にいかっふピーマン」のブランドで出荷され、全道シェアは55%前後で推移。今年は農家47戸が23.6トンに作付けした。天候に恵まれ生育は順調。1日初日には農家14戸から、濃緑食でツヤのあるピーマン2トンを提供された。本年度計画は、販売額は前年実績より約6千万円減の約7億8千万円、出荷量は前年同数の2千トンを計画している。

〔花き栽培〕

- ・ 6月の花き出荷実績は、71万本、金額5,436万円(前年83万本、7,175万円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・ 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は、33億1,500万円で、前年同月比で5億1,100万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (令和2年6月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	5	0	5	10	85	0	374	459	2
浦 河 町	7	3	7	17	27	185	45	257	4
様 似 町	4	2	4	10	70	44	40	154	3
え り も 町	1	3	4	8	2	3	28	33	0
広 尾 町	1	0	7	8	6	0	180	186	1
計	18	8	27	53	190	232	667	1,089	10

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は10億8,900万円となった(前年同月4億6,700万円)。工事発注状況をみると、前年同月比では、件数は7件、金額は6億2,200万円上回った。
- ・ 6月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は10件で、前年を9件下回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が710ト(前年945ト)で前年比24.8%の減少。
出荷金額は1,346万円(同1,614万円)で前年比16.6%の減少。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年比やや増加している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・果物類は本州産のリンゴ・スイカ、や輸入バナナが主体となっている。
野菜類は本州産のナス、タマネギ。道内産のニンジン、ダイコン、キャベツ、キュウリ、ピーマン、ハクサイ、ホウレン草、ネギ、ニラ、トマト、レタス等が入荷している。

〔小売業・飲食業〕

- ・地元の海産物を車に乗ったまま購入できる日高中央漁協の販売会「ドライブスルー特売」が21日、同漁協浦河市場岸壁で初めて開かれ、町内外から約200台が詰めかけた。新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、地元の海産物を味わってもらおうと企画した。サケの切り身やタラコを詰め合わせた福袋、タコなどの単品を用意。漁協職員が流れ作業で、運転席の窓越しに注文を受けて代金を受け取り、商品を後部座席やトランクに積み込んだ。車のナンバーによって毛ガニなどの景品が贈られたほか、6月生まれの人にはイクラしょうゆ漬けがプレゼントされた。

〔観光・その他〕

- ・日高振興局がまとめた2019年度の日高管内観光客の入込客数は、管内7町合計は前年度比5.4%増の179万3,500人(前年度170万1,200人)で、日高、新冠両町を除く5町で増加し、最近5年間で最高の入込数となった。新型コロナウイルスの影響で今年3月の観光客数は大きく減少したが、年度を通してサクラ開花期の5月連休は天候に恵まれたほか、前年の胆振東部地震からの回復で道内、道外客ともほぼ同じ割合で増加した。2019年度実績は、道外客は前年比5.9%増の35万7,400人(前年度比1万9,800人増)で全体の19.9%。道内客は同5.3%増の143万6,100人(同7万2,500人増)で80.1%。日帰り客は全体の90%を占め、5.4%増の161万4,700人(前年度比8万3,200人増)。宿泊客も5.4%増の17万8,800人(同9,100人増)となった。■日高町:41万6,400人、前年度比10.2%減。2,3月に道の駅(24万5,604人、3.3%減)や日高国際スキー場(7,163人、40.1%減)の利用が減少。■新冠町:35万300人、5.3%減。道の駅サラブレッドロード新冠(20万5,172人、6%減)やレ・コード館(1万4,174人、11.6%減)。■平取町:24万7,200人、13.8%増。二風谷アイヌ文化博物館(3万2,969人、23.7%増)、沙流川歴史館(2万7,484人、26.5%増)、二風谷工芸館(2万4,363人、35.1%増)、前年中止となったびらとり沙流川まつりの開催(5,000人)も寄与した。■新ひだか町:34万6,800人、21.6%増。しずない桜まつり(13万125人、25.3%増)、みついい蓬萊山まつり(5,241人、30.3%増)。■浦河町:14万3,700人、6.1%増。浦河桜まつり(9,500人、90%増)、浦河港まつり(2万3,000人、15%増)。■様似町:11万1,000人、11.1%増。アポイ岳ビジターセンター(1万7,481人、10.5%増)、海水浴場のふれあいビーチ・キャンプ場(6,600人、13.2%減)、アポイの火まつり(2万5,000人、19%増)。■えりも町:17万8,000人、6.8%増。襟裳岬(13万4,213人、5.3%増)。胆振東部地震による入込減からの回復で秋に増加した。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月0件)、負債総額はゼロ(同ゼロ)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、1件(前年同月0件)、負債総額は3,200万円(同ゼロ)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は21件(前年同月25件)、負債総額は26億3,500万円(同35億2,900万円)、倒産件数は前月比11件増加、前年比で4件減少した。
(東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

- 全国の倒産件数は780件(前年同月734件)、負債総額は1,288億1,600万円(同869億5,700万円)。
倒産件数は前月比466件、前年比で46件増加した。

〔雇 用〕

- 6月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.22倍で、前年比0.53ポイント下降、前月比0.02ポイント下降した。有効求人数は816人で前年比339人減少、前月比で10人の減少となった。有効求職者数は668人で前年比8人増加、前月比で4人の増加となった。全道の月間有効求人倍率は0.93倍で、前年比0.23ポイント下降し、前月と同率となった。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- 6/14 第25回 マーメイドステークス (GⅢ)
サマーセント 号 (日高町 ダーレー・ジャパン・ファーム(有) 殿生産)
- 6/21 第27回 函館スプリントステークス (GⅢ)
ダイアトニック 号 (浦河町 酒井牧場 殿生産)
- 6/27 第22回 東京ジャンプステークス (J・GⅢ)
ラヴァンドポップ 号 (日高町 ダーレー・ジャパン・ファーム(有) 殿生産)

日高管内2019年の漁業生産量

日高管内の漁業生産量は前年比9.8%減の4万7,600トン(同4,800トン減)で、サケ漁の不漁が大きく影響した。

魚 種	2019年 (t)	2018年 (t)	前年比 (%)
日高管内生産量	47,600	52,400	△ 9.8%
サケ・マス類	4,800	7,900	△ 39.2%
サンマ	1,400	3,100	△ 54.8%
サバ類	700	1,500	△ 53.3%
マダラ	1,300	1,700	△ 23.5%
イカ	300	600	△ 50.0%
コンブ	12,500	12,700	△ 1.6%
スケトウダラ	13,500	14,000	△ 3.6%
タコ	2,200	2,200	増減なし
ブリ	1,200	1,100	9.1%
カレイ類	3,100	2,200	40.9%
貝類 (主にツブ)	2,300	2,100	9.5%

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《地区別業種別概況》

	新ひだか町（静内地区）	新ひだか町（三石地区）
漁業・水産加工業	ひだか漁協（静内）総水揚げ136t・42M（前年比55t減・21M減）。定置網漁2t・2M（同1t減・1M減）、カレイ漁47t・5M（同31t減・2M減）、タコ漁37t・17M（同4t増・1M増）、ツブ漁8t・2M（同2t減・1M減）、ウニ漁6t・5M（同8t減・17M減）、タラ・スケソウ漁5t・1M（同20t減・増減なし）、ナマコ漁1t・6M（同増減なし・増減なし）、昆布1t・2M（同増減なし・増減なし）等の漁。 〔水産加工業〕 カレイ、タコ、ツブ等の加工、生送りが主体。	ひだか漁協（三石）総水揚げ322t・56M（前年比70t増・増減なし）。定置網漁5t・4M（同1t増・1M減）、カレイ漁30t・3M（同87t減・6M減）、タコ漁23t・10M（同8t増・3M増）、ツブ漁7t・2M（同3t減・1M減）、ウニ漁2t・1M（同増減なし・1M減）、タラ・スケソウ漁2t・0M（同1t増・増減なし）、ナマコ漁5t・18M（同1t増・2M減）、昆布6t・9M（同2t増・3M増）等の漁。
軽種馬生産業・農業	〔軽種馬生産業〕 7月開催のセレクトセールに期待している。 〔農業〕 新冠町の「ピーマン」、新ひだか町の「ミニトマト」は生育、収穫ともに順調で出荷量は徐々に増えてきている。	〔軽種馬生産業〕 7月開催のセレクトセールに期待している。牧草は、悪天候が続く、刈り入れは若干遅れている。 〔農業〕 花き出荷数71万本、金額5,436万円。（前年同月出荷数83万本、金額7,175万円）。 〔畜産〕 仔牛の出荷頭数は61頭、金額は4,291万円。肥育牛の出荷頭数は36頭、金額は4,292万円。総出荷頭数は97頭、総金額は8,583万円。価格は仔牛で70万円、肥育牛で119万円の取引となった。
建設業	〔土木業〕 町発注工事：5件 85M 〔建築業〕 町発注工事：0件 0M *町発注工事累計：31件、757M（前年同月累計：19件、273M） *月中建築確認申請件数：2件（前年同月：8件） *建築確認申請件数累計：5件（前年同月累計：17件）	〔土木業〕 町工事が減少しており、厳しい状況が続いている。民間からの水洗工事や下水道工事主体に移働。 〔建築業〕 町内外からの個人住宅新築工事の受注で忙しい状況の企業もみられる。
木材・製材業	〔木材業〕 木材・製材の受注は例年並みで推移している。	〔木材業〕 道外からの受注が増加。安定した稼働状況。
卸売業 小売業	〔卸売業〕 野菜は、ナス、タマネギは本州産、ダイコン、ハクサイ、ホウレン草、キュウリ等は道内産となっている。 〔小売業〕 コンビニは自社ブランド商品、スーパーは惣菜の売上好調。売上は例年並みとなっている。衣料品店は、夏物商品に入れ替えしているが売上は低調。家電販売店は、夏のセール実施。扇風機の売上が好調。飲食業は、客足は徐々に増加しているが、依然として売上は低迷。	〔小売業〕 コンビニ、一般食料品店は、地域の高齢化で来店客数は減少傾向。祭りやイベントの中止で厳しい状況となっている。衣料品店は、夏物セール実施するも、来店客は少なく、売上は停滞している。家電販売店は、夏物セール実施するも、客足は鈍く、売上は減少傾向にある。仕出し関係は、葬儀関係・個人からのオードブル注文が増加した。旅館業は、工事関係者のみの宿泊となっている。
その他	*新ひだか町は、年間4億円超の赤字が続く介護サービス事業の抜本的な経営改善に向けた実行計画をまとめた。来年度から町立の特別養護老人ホーム「静寿園」、「蓬莱荘」など6施設を指定管理者による一括運営に移行し、介護老人保健施設「まきば」は廃止する。人件費が抑制され、数億円単位の赤字削減が見込めるという。町の介護サービス事業は人件費の高止まりなどが背景で、昨年度は約4億8千万円の赤字見込み。赤字は例年、一般会計からの繰り入れで穴埋めしており、町財政を圧迫している。町は「経営を抜本的に見直す必要がある」として昨年度から改善策を検討、民間活力によるサービス向上も期待できる指定管理者制度を導入する方針を固めた。指定管理による一括運営に移行するのは、静寿園と蓬莱荘のほか、両施設に併設するデイサービスセンター「みついし」、「なごみ」など。運営に要する経費は施設利用料で原則賄ってもらう。	*新ひだか町三石本町の橋本興業（橋本勝司社長）は、三石町に三石地区初となる大型洗濯乾燥コインランドリーをオープンした。店内には8台の洗濯乾燥機が並び、布団や毛布、カーペットまで季節の大物洗いが可能。スマホやパソコンで空き情報が確認できる。また、洗剤や柔軟剤は自動投入されるので、持ち込みの必要なし。店内のテーブルで洗濯物の整理が可能。ランドリーカードの購入（1千円から1万円まで）1,000円毎に100ポイントが加算、会員登録で、キャンペーン情報やクーポンの発行など特典情報がメールで受けられる。また、フォトスポットが設置され、メルカリなどネットオークションに出品する衣類の写真撮影場所も設けられている。営業時間は、午前6時から午後11時までで年中無休。

	浦河地区	様似地区
漁業・水産加工業	日高中央漁協(浦河・荻伏) 総水揚げ 1,856t・126M(前年比 1,145t 増・11M 減)。底曳き網漁 179t・5M(同 113t 増・1M 増)、定置網漁 1,266t・58M(同 928t 増・24M 増)、カレイ漁 14t・2M(同増減なし・1M 増)、タコ漁 27t・12M(同 15t 減・11M 減)、ツブ漁 39t・5M(同 12t 増・1M 増)、ウニ漁 5t・5M(同 10t 減・13M 減)、キンキ漁 4t・3M(同増減なし・増減なし)、ナマコ漁 5t・17M(同 2t 増・2M 減)、昆布 4t・7M(同 8t 減・10M 減)等の漁。 〔水産加工業〕 時サケ、本マス、タコ、ツブ等の加工・生送り主体。	日高中央漁協(様似) えりも漁協(冬島) 総水揚げ 364t・82M(前年比 133t 増・18M 減)。定置網漁 290t・16M(同 141t 増・5M 減)、カレイ漁 21t・6M(同 3t 減・増減なし)、タコ漁 22t・11M(同 3t 減・2M 減)、ツブ漁 6t・3M(同 5t 増・2M 増)、ウニ漁 0t・0M(同 7t 減・11M 減)、ナマコ漁 3t・10M(同 1t 増・1M 減)、昆布 17t・26M(同 2t 減・増減なし)等の漁。 〔水産加工業〕 時サケ・マス、カレイ、タコ主体の加工・生送り主体。
軽種馬生産業・農業	〔軽種馬生産業〕 5月のトレーニングセールが中止となり、7月、8月のセールに期待をかけている。 〔農業〕 夏イチゴの生育は順調で、収穫が始まり集荷場は本格稼働となっている。	〔農業〕 イチゴ あまおとめ 平均 465 円/P 恋みのり 平均 440 円/P けんたろう 平均 252 円/P ゆきララ 平均 306 円/P すずあかね 平均 499 円/P 総売上 1,281 万円、総出荷量 7,339 パック
建設業	〔土木業〕 町発注工事：7 件 27M 〔建築業〕 町発注工事：3 件 185M ＊町発注工事累計：40件、413M (前年同月累計：35 件、222M) ＊月中建築確認申請件数：4 件 (前年同月：1 件) ＊建築確認申請件数累計：11 件 (前年同月累計：3 件)	〔土木業〕 町発注工事：4 件 70M 〔建築業〕 町発注工事：2 件 44M ＊町発注工事累計：21件、473M (前年同月累計：19件、316M) ＊月中建築確認申請件数：3 件 (前年同月：0 件) ＊建築確認申請件数累計：5 件 (前年同月累計：2 件)
木材・製材業		〔木材業〕 チップ製品出荷量：1,361 t (対前年比増加) 〔製材〕 建材、プレカット材の受注は安定している。
卸売業 小売業	〔卸売業〕 野菜は、ナス、タマネギは本州産、ダイコン、ハクサイ、ホウレン草、キュウリ等は道内産となっている。 〔小売業〕 コンビニは、外食を控えた人の来店で自社ブランド商品やアルコール類の売上が好調で売上を伸ばしている。一般小売店は、来店客減少や飲食店からの注文減少で売上は減少している。飲食店は、客足は戻りつつあるも、コンビニ・スーパーに客が流れており厳しい状況が続いている。家具店では、展示会等が中止となり、売上減少を見込んでいたが、定額給付金により、ソファ等々の売れ行きが好調となった。	〔小売業〕 コンビニの来店客は前年比減少となっているが、徐々に戻りつつある。飲料水や酒類等が売れている。スーパーは、マスクや消毒液、ハンドソープ等の品薄は解消された。えりも方面からの来店客のまとめ買いが多い。一般小売店の来店客は減少傾向、また、幼稚園等の休園で受注が減少しており、売上は前年比減少している。衣料品店は、固定客確保されているが、来店客は年々減少し、売上は伸びていない。家電販売店は、定額給付金で家電を購入する客がみられた。飲食店は、団体客、一般来店客共に少なく売上は減少している。今後も当面の間、回復の見通しがつかない状況である。
その他	＊浦河町は、向別のイチゴハウス団地にある町運営の栽培用試験ハウスの圃場を公開した。見学はイチゴ生産農家限定で、昨年度の試験結果の概要資料も閲覧できる。町は現在の主品種「すずあかね」を上回る品質や生産性の向上を目指すため、ハウス団地の一角に2棟の試験ハウスを作り、2017年から町独自の試験栽培に取り組み4年目になる。すずあかねは、品質的に関係者から高い評価を得ている。試験栽培の苗は、ホクサン(北広島市)の協力で新系統の開発中の苗の提供を受け、毎年4～5品種を栽培。昨年は5品種、今年は4品種(うち2品種は新種)を植え、ハウス横に試験施設も設置し、日高東部の気候に合った現地栽培調査を続けている。昨年はLEDを使用し、一定時間の夜間光で生育の効果を調べ、今年はパイオ培養を新たに実施する。町によると、今春植えている4種のうち、栽培3年目となる1品種は品質的に将来有望となる可能性があるという。この品種は昨年の町イベントで、すずあかねとの食べ比べで試食した来場者からも「おいしい」と評価を得ている。	＊様似町は、新型コロナウイルスの影響で低迷している町内の消費活動を活性化するため、約4,200人の全町民に地域限定の商品券各1万円分を配る方針を決めた。7月中の事業開始を目指す。「地域応援券事業」として、7月1日現在、住民基本台帳に記載されている人が対象。1人につき額面千円の応援券(仮称・アポイクーポン)10枚を、世帯主にまとめて簡易書留で送る。事業に参加する町内の店舗などで使用でき、3千円分は飲食店限定とする。使用期限は12月末。町商工会が参加事業者を募集し、併せて消費喚起キャンペーンも展開する。事業費はクーポン印刷代や郵送費を含め約4,500万円で、国の地方創生臨時交付金を充てる。町は期間予算案を23日開会予定の定例町議会に提出する。町は応援券事業のほか、臨時交付金の活用策として総額約2,600万円の9事業を行う方針。学校などに配備する非接触式赤外線体温計40台の購入、宅配サービス向け図書購入などを予定している。

	えりも地区	広尾地区	
漁業・水産加工業	えりも漁協(本所・庶野) 総水揚げ810t・255M(前年比36t増・65M減)。定置網漁277t・13M(同91t減・37M減)、カレイ漁41t・6M(同17t増・1M減)、タコ漁54t・25M(同5t増・増減なし)、ツブ漁186t・64M(同32t増・12M増)、ウニ漁2t・3M(同1t減・増減なし)、タラ・スケソウ漁3t・1M(同1t減・増減なし)、ナマコ漁4t・13M(同4t減・34M減)、昆布47t・82M(同26t減・21M減)等の漁。 〔水産加工業〕 時サケ、タコ、ツブ、カレイ等の加工・生送り主体。	広尾漁協総水揚げ144t・43M(前年比61t増・3M減)。サケマス流し網漁20t・18M(同7t減・増減なし)、定置網漁50t・7M(同38t増・4M減)、タコ漁10t・4M(同3t減・2M減)、ホッキ漁25t・6M(同19t増・5M増)、ツブ漁12t・6M(同3t増・増減なし)等の漁。 〔水産加工業〕 時サケ、マス、タコ、ホッキ、ツブ等の加工、生送り主体。	
軽種馬生産業・農業		十勝港	十勝港外国船の入出港船数6月中:10隻(前年同月10隻、令和2年1月以降累計40隻)
建設業	〔土木業〕 町発注工事:1件 2M 〔建築業〕 町発注工事:3件 3M *町発注工事累計:23件、98M (前年同月累計:17件、106M) *月中建築確認申請件数:0件(前年同月:2件) *建築確認申請件数累計:1件(前年同月累計:4件)	〔土木業〕 町発注工事:1件 6M 〔建築業〕 町発注工事:0件 0M *町発注工事累計:14件、249M (前年同月累計:19件、183M) *月中建築確認申請件数:1件(前年同月:8件) *建築確認申請件数累計:4件(前年同月累計:13件)	
木材・製材業		〔木材業〕 チップ材の出荷量:710t(前年945t) 金額:1,346万円(前年1,614万円) 〔製材業〕 建設資材は住宅新築等が動き始め、本格化している。	
卸売業 小売業	〔小売業〕 スーパー・コンビニは、自宅での飲食が増加し、食材や酒類の売上が増え、売上はやや増加している。コンビニでは、建設工事関係の長期宿泊者の利用が増加している。一般小売店は、プレミアム商品券の販売もあり、利用客多く多くなっている。家電販売店は、来店客は少ない状況ではあるが、漁業者の来店がやや増加した。車両関連は、車検等は前年並み、車両販売の動きは鈍い状態が続いている。家具販売店は、客足は鈍く売上は前年比減少。飲食店は、売上は回復しつつあるも夜間の利用客は少ない。運動会等の延期により、オーダブル等の注文はほとんど無かった。スナック関係は営業を再開したが、客足は鈍い。例年コンブ漁前の漁業者の利用多いが、今年は少なくなっている。	〔小売業〕 コンビニは、昼時間帯の客足伸びるも、夜間の落ち込みは続いている。スーパーは外食を控える人が増え、食料品を求める来店客が増加している。一般食料品店はコンビニ、スーパーとの競合で厳しい状況が続いている。鮮魚店は、鮮魚の仕入れ価格が下がったが、来店客も減少し全体的に売上は減少している。衣料品店は、高齢者の固定客により売上を維持しているが、来店は少なく売上は年々減少している。飲食店は、昼の来店客は戻りつつあるが、夜の来店客は少なく、売上は割程度減少している。町の地域振興プレミアム付商品券が販売され、町内小売業者は、商品券利用による売上増加に期待している。	
その他	*再生可能エネルギー発電のアフターフィット(東京)が、えりも町で最大総出力47万1,700kWの陸上風力発電所の建設を計画していることが22日分かった。道などによると、道内で計画中の陸上風力では最大規模。2024年秋に着工し、28年末ごろの営業運転開始を目指す。計画によると、事業想定区域はえりも町南部の約9,500㎡。今後の調査でさらに絞り込み、1基当たりの出力が、300kW、高さ200mの大型風車を最大89基建設する予定。事業費や売電先は未定。建設に必要な環境影響評価の手続きを22日から始めた。総出力は、北海道電力苫東厚真火力発電所1号機(35万kW)を上回る。アフターフィットは16年創業。道内6カ所を含む国内14事業拠点をもち、太陽光発電を中心とした再生エネ関連事業を手がけている。国内有数の強風地帯であるえりも町では、2年前から大規模な風力発電所の発電計画が相次いでいる。同社は4社目となる。	*広尾町は、クリスマス時期に全国へ発送するクリスマスカード「ひろおサンタメール」のイラストを募集している。一般公募3年目。事務局は「新型コロナウイルスの影響が続くこんなときだからこそ、夢のある絵柄のサンタメールを届けるために力を貸して」と呼びかけている。サンタメール事業は1985年から続け、昨年は1万5,311通を発送した。最優秀作品は同メールのイラストに採用されるほか、昨年に続いて、さっぽろ東急百貨店のクリスマスディスプレイとして使用される予定。一般の部の最優秀賞は賞金10万円で優秀賞2点は賞金5万円。こどもの部は入選5点に図書カード1万円分を贈る。昨年はサンタクロースや雪、星空、妖精などを題材とした作品が、一般の部に257点、こどもの部に39点寄せられた。応募は1人1点で、未発表のオリジナル作品に限る。大きさはA4横長で、CGデータも受け付ける。締め切りは8月31日。詳しい内容は、ひろおサンタプロジェクト推進協議会ホームページ。	

(注)Mは百万円、tはトン数を表し、金額は4捨5入をしております。

《指標》

1 営業区域の人口・世帯数動向（令和2年6月現在）

（単位：人）

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	4,869	-139	-14	2,511	-51	-8
日 高 町	11,419	-311	-7	6,053	-114	-3
新 冠 町	5,424	-99	-18	2,758	-12	-3
新ひだか町	21,843	-548	-197	11,626	-78	8
浦 河 町	12,024	-230	5	6,649	-85	1
様 似 町	4,167	-100	-16	2,146	-34	-9
え り も 町	4,553	-97	-15	2,118	-8	-6
日高地区合計	64,299	-1,524	-262	33,861	-382	-20
広 尾 町	6,614	-99	-1	3,313	-24	-4
大 樹 町	5,467	-88	-2	2,733	-1	0
日高・十勝地区合計	76,380	-1,711	-265	39,907	-407	-24
札 幌 市	1,973,362	4,070	-50	972,920	10,662	521
江 別 市	119,774	460	-1	58,459	714	30
石 狩 市	58,235	-62	-7	28,026	271	10
北 広 島 市	58,185	-251	-14	27,890	194	-4
恵 庭 市	70,008	183	45	33,978	428	44
千 歳 市	97,823	541	-15	50,663	872	16
石狩地区合計	2,377,387	4,941	-42	1,171,936	13,141	617
苫 小 牧 市	170,612	-746	-56	89,988	754	31
厚 真 町	4,453	-114	-9	2,109	-41	-4
む か わ 町	7,805	-190	-19	4,107	-49	0
胆振地区合計	182,870	-1,050	-84	96,204	664	27
営業区域合計	2,636,637	2,180	-391	1,308,047	13,398	620

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

（資料出所：各市町村）

2 労働需給状況（令和2年6月）

	浦河職安	全 道	前年同月比		前 月 比	
月 間 有 効 求 人 数	816	74,584	-339	-19,502	-10	761
月 間 有 効 求 職 者 数	668	80,165	8	-1,062	4	518
月 間 有 効 求 人 倍 率	1.22	0.93	-0.53	-0.23	-0.02	0.00

（資料出所：北海道労働局）

3 建築確認申請（令和2年6月）

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	10	-9	3
(新ひだか町～広尾町)	令和2/4～令和2/6 累計	26	-13	

（資料出所：各市町村）

4 企業倒産状況(令和2年6月)

(単位: 件、千万円)

	件 数	金 額	前同比(件数)	前同比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	1	32	1	32		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北 海 道	21	2,635	-4	-894		
全 国	780	128,816	46	41,859		

(資料出所: 東京商エリサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(令和2年6月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
156,122	1.07	1.02	55,467	1.05	1.01

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	2年6月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	283	76.88	79.11
交換金額	416	80.87	65.74
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

令和2年6月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	15.3	114.0	178.1	2.2	129.1	122.3	
広 尾	14.3	143.0	121.8	2.1	101.3	96.1	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(令和2年6月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町 静内	102,847	5.9	45,839	-4.3	148,686	2.5
新ひだか町 三石	17,640	3.2	10,539	-6.2	28,179	-0.5
浦 河 町	61,433	3.9	22,358	-7.4	83,791	0.6
様 似 町	22,805	3.2	11,593	10.3	34,398	5.5
え り も 町	25,763	5.8	9,084	-12.4	34,847	0.4
広 尾 町	33,476	0.1	13,902	-4.6	47,378	-1.3

(資料出所: 各町)

8月は「北方領土返還要求運動強調月間」です。

～北方領土問題の解決に向け、道民世論の結集を図る啓発活動を実施します。～

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

北海道では、昭和41年から、この北方領土問題の解決に向け、道民世論の結集を図り、国の外交交渉を積極的に後押しするため、旧ソ連邦が日本に対し宣戦を布告し、北方四島の占拠を開始した月である8月を「北方領土返還要求運動強調月間」として、重点的に返還要求運動を実施しています。

●主な取組内容

・北方領土返還要求署名コーナーの設置及びパネル展の実施

日高振興局内に署名コーナーを設置し、返還要求の署名活動及び北方領土関連のパネル展を実施します。

期間：令和2年（2020年）8月3日（月）～8月31日（月）

場所：日高合同庁舎1階エントランスホール

・署名キャンペーンの実施

より多くの署名機会を設け、北方領土に対する理解と関心を深めていただくことを目的とし、日高振興局職員が各企業・関係団体に対し協力要請を行い、北方領土返還要求運動強調月間において署名活動を実施します。

お住まいの町役場庁舎でも署名できます！！

北方領土返還署名コーナーは、日高管内各町役場庁舎内にも設置されておりますので、御協力をお願いします。



「千島桜」を用いた啓発を行っています

千島桜は北方領土返還要求運動のシンボルの花



緊急!

創立100周年
カウントダウンキャンペーン

第2弾!

コロナに負けるな!
みんなで町を元気にキャンペーン

ひだかしんきん 第31回 懸賞金付定期預金

New! スーパーチャンス

お取扱期間

令和2年7月1日(水)～令和2年9月30日(水)

1等
5万円

(5ユニット完売した場合)

懸賞金総額

500万円

2等 3等
3万円 1万円

※左記の当選懸賞金からは、別途20.315%の税金が徴収されます。

ほか

地域応援企画!!
“なないろの輪”

10万円以上お預け入れいただいた方の中から、

抽選で**1,000名**の方にお食事券が当たります!!

なないろまち食エール
「ひだかしんきんグルメチケット」
お食事券2,000円分

※ひだかしんきん「なないろまち食エール参加店」
でのみ利用できます。

地域応援企画のみ、先行して抽選を行います!

【抽選日 令和2年10月5日(月)】

お申込み、お問い合わせはお近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

まごころ ふれ愛
日高信用金庫
URL: <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

本店営業部
静内支店
三石支店
藤似支店

TEL 0146-22-4111
TEL 0146-42-1531
TEL 0146-33-2311
TEL 0146-36-2341

えりも支店
広尾支店
堺町支店
札幌支店

TEL 01466-2-2311
TEL 01558-2-3161
TEL 0146-22-5611
TEL 011-200-7070



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013	浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034	浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016	日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108	日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014	様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204	幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615	広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 大樹生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8 : 45 ~ 18 : 00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 16 : 00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 18 : 00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。

※ハンドセット付 ATM : プッシュボタン付受話器から、音声ガイダンスにより操作手順をご案内する ATM です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

